

法第93条第1項関係の届出の様式(民間の土木工事のための発掘に関する届出)

工事着工60日以前の届出であることを確認。

→ 令和 年 月 日

福島県教育委員会教育長 様

住 所 □□□□□□□□□□□□□□

〇〇株式会社代表取締役社長

氏 名 等 《 届出者=工事主体者 》

埋蔵文化財発掘の届出について

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事等のための発掘を実施したいので、文化財保護法（昭和25年法律第214号）第93条第1項、同第184条第1項及び文化財保護法施行令（昭和50年政令第267号）第5条第2項の規定により、下記の事項について、関係書類を添付し、別記のとおり届け出ます。

記

- 1 土木工事等をしようとする土地の所在及び地番
- 2 土木工事等をしようとする土地の面積
- 3 土木工事等をしようとする土地の所有者の氏名又は名称及び住所
- 4 土木工事等をしようとする土地に係る遺跡の種類、員数及び名称並びに現状
- 5 当該土木工事等の目的、計画及び方法の概要
- 6 当該土木工事等の主体となる者（当該土木工事等が請負契約等によりなされるときは、契約の両当事者）の氏名及び住所（法人その他の団体の場合は、その名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地）
- 7 当該土木工事等の施行担当責任者の氏名及び住所
- 8 当該土木工事等の着手の予定時期
- 9 当該土木工事等の終了の予定時期
- 10 その他参考となるべき事項

【添付書類】

土木工事等をしようとする土地及びその付近の地図並びに当該土木工事等の概要を示す書類及び図面

別 記

93条第1項

記入しない

県文書番号 第 号・令和 年 月 日

開発にかかるとる遺跡面積を記入する。

1. 所在地	〇〇市〇〇町〇〇 1, 1-2, 3	
2. 面積	500㎡	
3. 土地所有者	住所：〇〇市〇〇町〇〇 氏名等：〇 〇 〇 〇	
4. 遺跡の種類	散布地 集落跡 貝塚 都城跡 官衙跡 城館跡 社寺跡 古墳 横穴墓 その他の墓 生産遺跡 その他の遺跡( )	
遺跡の名称	〇 〇 遺跡 (県遺跡番号 ) 員数：1	
遺跡の現状	宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野 その他( )	
遺跡の時代	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良 平安 中世 近世 その他( )	
5. 工事の目的	道路 鉄道 空港 河川 港湾 ダム 学校建設 集合住宅 個人住宅 工場 店舗 個人住宅兼工場又は店舗 その他建物 ( ) 宅地造成 土地区画整理 公園造成 ゴルフ場 観光開発 ガス 電気 水道等 農業基盤整備事業(農道等を含む) その他農業関係事業 土砂採取 その他開発( )	
工事の概要	アパート建設による土地造成。丘陵部を掘削して2階建2棟を建設予定。隣接地は平成〇〇年に同社が開発。その際試掘調査を実施し、住居跡4軒を検出、協議により記録保存のための本発掘調査を実施した。など	
6. 工事主体者	住所：〇〇市〇〇町〇〇 氏名等：〇〇株式会社代表取締役社長 〇 〇 〇 〇	
7. 施工責任者	住所：〇〇市〇〇町〇〇 氏名等：〇〇建設会社代表取締役社長 〇 〇 〇 〇	
8.	令和〇〇年〇〇月〇〇日	9. 令和〇〇年〇〇月〇〇日
10.		

該当する字、地番をすべて記入。所有者が多いなど、枠に入らない場合は、公図字切図で確認の上、土地所有者ごとに地番をまとめ別記一覧表を作成。

遺跡が重複している場合は遺跡名を列挙し、員数は2。

遺跡台帳の番号を確認の上記入。

氏名まで記入

届出者と同一

届出の日付より60日以後であることを確認。

指導事項 発掘調査 工事立会 慎重工事 その他( )

市町村文化財保護部局における協議結果を鉛筆で○をつける。

[注意事項] ①太線内は届出者が記入。 ②指導事項欄は宗教員委員云々で記入。  
③遺跡の種類・現状・時代及び指導事項欄は該当項目を○で囲み、該当項目のない場合は( )内に記入。